

令和6年第10回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和6年10月22日(火) 14時00分
- 2 閉会日時 同日 14時57分
- 3 開催場所 市役所5階 大会議室
- 4 出席者 教 育 長 菅 野 恭 介
委 員 中 川 和 之
委 員 楠 田 初 美
委 員 深 田 英 世
委 員 荒 木 努

- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	伊 藤 勝
次長兼教育総務課長	井 上 英 文
学校教育課長	小 坂 卓 司
こども未来課長	阿 木 博 信
生涯学習課長兼市史文化財係長	北 島 悦 乃
総合教育センター所長	三 村 尚 彦
図書館長	桜 井 雄 一 郎
学校再編室長	中 井 孝 浩
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ち あ き
学校再編室(学校再編推進員)	吉 村 靖

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移ります。

- 6 付議事項

議案第29号 令和7年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について

- 7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

- 8 質問及び討議の内容

議案第 29 号 令和 7 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について

(学校教育課長の説明) 加西市立加西特別支援学校学則第 8 条第 2 項の規定により、令和 7 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について、別紙のとおり定めたいので、委員会の議決を求めます。

昨年度からの修正箇所が 1 か所ありますので、ご説明します。項目 425 番です。実は昨年度 1 月定例委員会でも説明しておりますが、一昨年前までは感染症に限定した追試験を認めていましたが、星印のように不慮の様々な事象を起因とする追検査を認めています。これは兵庫県の公立高等学校学力検査要綱並びに県立特別支援学校の学校選抜要綱に準拠する形で、昨年度に修正をしました。

加西特別支援学校高等部の入学者選考につきましては、この要綱に記載しておりますとおり、基本方針と本科における志願者取扱実施要領、並びに本科における入学者選考実施要領に基づいて実施をしたいと考えています。6 ページには別紙 1 として日程を取りまとめ、今年度用カレンダーで作成をしました。選考方法につきましては、調査書によりまず書類審査、そして面接、適性検査等を行っています。また、定員割れがあった場合には、毎年、再募集を行っております。

冊子の中で 7 ページ以降に相当する部分からは、様式書になっております。様式第 6 号、令和 7 年度高等部生徒の再募集に関する届け出について下の 5 番に「合格者の発表の日時及び方法」というところがあるのですが、ここを「日時」のみに変更します。それから、様式第 7 号については、加西市立加西特別支援学校高等部入学志願特別事情具申書ですけれども、一番下に「市(町)立」とありますが、ここについては「立」だけを残して、「市」と「(町)」の部分は削除しようと考えております。

9 議決事項

議案第 29 号 令和 7 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について

原案どおり可決

10 報告事項

教育長

別紙の資料をご覧ください。主なものをご説明します。

まず、教育委員計画訪問については、委員の皆様、本当にありがとうございました。学校も良いご意見をいただき、今後の学校経営に生かしていけると申しておりました。

9 月 21 日、中学校の体育大会が、無事に終わっております。

9月25日の五百羅漢保存修理検討委員会ですが、五百羅漢の保存、修理について本格的に進めるということで、その実施方法等について協議を行っていただいております。また、同日には統合中学校の設計に関する協議、学校と教育委員会の内部協議を行いました。さらに、同日、第2回統合中学校開校準備委員会を開催しております。こちらについては学校再編室より説明いたします。

9月26日には、玉丘古墳協議として玉丘古墳群の整備について協議しました。

それから、小学校の運動会はそれぞれの学校において日程が異なり、9月28日に日吉小が、10月12日には天気に恵まれ、賀茂小と下里小の運動会が終わりました。一方、10月19日に開催を予定していた残りの学校は、雷雨のために一部中止または全部中止ということで、学校によって対応が若干異なりました。北条、宇仁、九会は一歩を実施しましたが、途中で中止となったため残りの内容は後日に対応しました。北条東、富田、富合、西在田、泉については、全部を10月20日に順延しております。

9月28日には中学校の新人体育大会がございました。

10月1日は統合中学校の設計協議ということで、設計事務所も交えて協議をしました。この中で出た意見も含め、今後、進めていく中で再整理が必要ということで、現在それについて調整中であり、次回、10月29日に協議を行うことになっております。

10月6日には加西市体育大会開会式が行われ、今回から市民会館での実施となりましたので、雨に関係なくできるようになっております。

10月8日には、さわやか市民賞の贈呈式がございました。資料に挙げている5名の小学生が受賞しております。一番上の鷹取君は、昨年度も受賞しており2年連続の受賞となります。鷹取君は標語、ほかの池田君、藤原さん、原田さん、遠藤君は絵画です。小学校の先生方の指導の賜物と思っております。

10月14日には加西市民剣道大会が、加西市民大会の一環で開催されております。

10月15日からの目標達成状況面談では、校長先生の学校経営目標の達成状況の確認を教育委員会で行っているもので、同時に各学校の課題や要望についてもお聞きし、それぞれの学校の経営がよりうまく行くように相談させていただいております。

10月17日は教育委員打合せをさせていただきました。

10月18日には、兵庫テックおよび伴走者支援中間報告とありますが、兵庫県が実施しております企業と連携したデジタルトランスフォーメーションによる教育課題の解決、教員の働き方改革、非認知能力の育成というようなものを実験的に行っていこうと、各学校に手上げ方式で募集しまして、いろいろな取組みのスタートをこれから切ろうという状況で、その報告をいただいております。

教育部長

北条高校との連携についてご報告します。お配りしている県立北条高校と加西市との連携協力に関する包括連携協定書（案）は、たたき台でこのままというわけではあ

りませんが、参考資料としております。

加西市教育委員会では、令和10年の統合中学校の開校を見据え、中高連携の検討をしております。中高連携による相互理解や教育活動、また地域や地元企業の方々にも入っていただいて学びの機会を提供していきたいと考えております。

一方、北条高校の今後の活性化を考えていくことは、加西市を担う人材を育てることに寄与します。これからの加西市の活性化にもつながる課題だと考えております。そのような考えの下、現在、市長部局と共に北条高校と包括的な連携協定について話し合いを進めているところです。加西市教育委員会としては加西の教育3本の矢による連携を、また北条高校としては、これまでや今後の探究学習や国際交流活動においても相互に協力関係が築けるものと期待しております。他の大学や高校との連携と同じように、政策部政策課のほうで協定締結に向けた準備や調整を行っていただいております。今後、教育委員会では統合中学校含め、様々な活動や取り組みで北条高校と連携を深めていきたいと考えております。

教育委員の質問と回答

- ・この協定というのは、いつ頃結ばれるのですか。

(教育部長の回答) まだ日時は聞いておりません。

- ・私もできるだけ北条高校のされているSTEAMや地域活動については校長先生と話をしています。まだまだ詳しくないので、もっと足を運んで北条高校の校長先生、教頭先生、担当の先生にも聞かなければならないですし、もっと追及していきたいと思っています。

今やっている探究活動というのは本当に中高だけではなく、小学校やもっと言えばこども園も一緒になってできるのではないのでしょうか。それプラスふるさと創造部もありますので、こうした協定を組んで全体的に行うことで、北条高校もものすごく活性化するのではないかと見ています。私も活動についていろいろと模索していきたいと思っていますので、ぜひ進めてください。もし何かあれば、私は北条高校の本部役員としていろいろとやっていますし、そこには教頭先生も参加されていますので、いろいろと話をしていきたいと思っています。ぜひやっていただきたいと思います。よろしくお祈りします。

(教育部長の回答) よろしくお祈りします。

- ・協定書を結ぶ段階である程度、具体的なことも事前に話はできるのですか。要は協定書を結ぶときが、高校的にも一番大きな話になると思うので、ある程度こういうことをしようかという話は、事前に詰めるのは可能なのですか。

(教育部長の回答) はい、可能です。

- ・現在、九会小学校や、うずらの班といって鶉野飛行場でガイドをするのですが、結構、小中学校から現場に向かって、うずらの班に入っている高校生がガイドをされているので、締結していなくても、もう活動は進んでいます。また、九会のふるさと創造会議のほうでもペットボトルを使ったようなことも全部、北条高校が交じってやっています。この前も先生と話をしていたら、北条高校では九会小学校のペットボトルツリーに負けじと、高校生全員でペットボトルを百本か二百本集めると言っていて今やっているそうです。それで、締結を結んだほうがいいとは思いますが、もう現状では活動は実際にされています。先生の負担も考えながらかもしれませんが、これをするのは絶対にいいと思います。

次長兼教育総務課長

第4回加西市 STEAM フェスについてご報告します。今年度も加西 STEAM 推進の一環としまして、11月23日の祝日午後1時から午後4時半まで、アステシア加西において加西 STEAM フェスを開催する予定です。今年度も昨年と同様に兵庫教育大学の先生方や学生にご協力いただき、それぞれのブースでワークショップを開催することになっています。なお、それぞれのブースへのお申込みは、11月1日金曜日からで、ワークショップの詳細についてはホームページ上で現在もご覧いただくことができ、その上で子どもたちに参加していただくという形になっています。

また、1階センタープラザにおいて、下里小学校の子どもたちが開発したオリジナルカレー「スペシャルみつぼしカレー」を12時半から16時まで、250食限定で販売いたします。最後に、「スペシャルみつぼしカレー探求」と題して、下里小学校の卒業生による実演発表と「希少種の宝庫“あびき湿原”を知ろう!!」と題して、北条高校生の実演発表も予定しております。教育委員会の皆様方には、当日できれば会場まで足を運んでいただければと思いますので、よろしく申し上げます。

教育委員の質問と回答

- ・北条高校の発表は ECO チャレンジ班ですかね。教育委員会からお願いしたのですか。それとも、北条高校のほうから「絶対出る」とか言われたのですか。
(教育部長の回答) きっかけとしてはこちらからお話しました。
- ・本当にいいことだと思います。これは STEAM 関係でやっているからいいと思うのですが、こういうようなイベントも踏まえてもっともっと活性化していただけたらと思います。ぜひ足を運びたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

・これは4年目ぐらいですか。

(次長兼教育総務課長の回答) 今年度は第4回になります。

・初めの頃から思えば、どのような盛り上がりをされていますか。何か進んだものはありますか。

・去年から下里小学校のカレーが加わりました。このカレーがとてもおいしいので、2時間ぐらいで200食が完売しました。かなりよかったです。

・カレーはこのフェスで売られるのですか。

・1階で売っています。私もそれが楽しみで行っていました。あと、2年前には3階で西在田小学校の男の子たちばかり10人ぐらいでしたか、SDGsについての発表をしたのですが、それもとてもよかったです。全国で賞に選ばれたそうで、力を合わせたその発表はよかったです。今回はひいきするわけではないですが、北条高校のSTEAMの発表が楽しみです。下里小学校や今回は北条高校が参加しているので、少しずつフェスティバルは進んでいっているのではないかと思います。

(教育長の回答) 実は今、同じ場所で中学生の夏休みの自由研究の発表ポスター展示をしているのですが、非常にすばらしい内容のものがたくさんあって、今後こういうところで、そうしたものを発表や評価する機会があってもいいのではないかと思います。そして、今もありましたように、大事なのはこれをどういう位置づけにするかということです。4年たってもう一度考える時期に来ているのかとも思いますので、その辺も含めていろいろとご意見をいただき、今後やっていければと思っています。

学校教育課長

まず、運動会についてですが、9月21日の中学校の体育祭を皮切りに、今年度は9月28日、10月12日、10月19、20日と五月雨式となりましたが、最後の日となる予定だった19日が悪天候で、予定していた8校のうち5校が翌20日、日曜日に実施をしております。委員の皆様におかれましては、各会場への激励訪問を本当にありがとうございました。最後になって少し天候に悩まされた年ではありましたが、昨年度までの懸案事項であった暑さ対策については、かなり時期を遅らせたことが功を奏したように感じています。今年度の検証を基に、来年度の日程について各校で検討を既に始めています。

それから、9月28日には、中学校の部活動の新人大会が行われています。この時期もちょうど暑さが収まりかけたところでしたので、気持ちよさそうに非常に伸び伸びと、夏休みの成果を発揮すべく元気に頑張っている子どもたちの様子が印象的でした。

10月5日土曜日には市民会館をお借りしまして実用英語検定、いわゆる英検一次試験が市内の中学校3年生の希望者を対象に行われました。これは加西 GLOBAL が始まる以前から継続している事業ですが、受験料の全額補助をするものです。今年度は4級に16名、3級に71名、準2級に33名、2級に4名がそれぞれ受験し、合計で124名が参加しました。昨年度より若干、増加しております。二次試験についてはこちらで会場を用意するのではなく、英検事務局が指定する試験場で、県内では姫路と加古川と神戸だと思いますが、各自が受験することになっています。

教育委員の質問と回答

- ・教育長も言われていたように、小学校の運動会の日程が今年は学校ごとに違っていたので、私は賀茂小と下里小に行かせてもらいました。そうしたら、賀茂小でびっくりしたのですが、とにかく地域と一体になっているというか、競争競技のゴールテープを学校運営協議会の会長さんと駐在所のお巡りさんが持っていたのです。それから、ふるさと創造会議の方が応援グッズを何か持ってきていらして、本当に地域と一体になった運動会ということすごいと思いました。ほかの学校もそうですが、ゴールテープを地域の方が持っているのは、さすがに賀茂だけでした。本当に地域と一体になった運動会が繰り広げられていたと思います。また、私が学校に勤めていた頃は、協議が終わると地域の方がテントの片づけを始めるのですよね。でも、今年は何の放送もされていないのに、地域の方がきちんと最後まで待たれていて、そういうルールもきちんと守られていて、いい運動会ができたと喜んでいました。
- ・英検のことを教えていただきたいのですが、英検は5級からでしたか。
(学校教育課長の回答) 5級からです。
- ・4級が16名、3級が71名受検したということですが、内訳的にはどの学年ですか。
(学校教育課長の回答) 中3だけです。
- ・英検の3級だと少し難しくなるのですか。
(学校教育課長の回答) 中3であれば普通は3級を受けます。
- ・4級であれば簡単なので受かる体験ができるので、その辺を勧められないかなと思うのですが。中3でいきなり3級を受ける子も結構いるのですか。

(学校教育課長の回答) 中3では大体3級を目途にしているという感じです。

- ・受けたいのか受けざるを得ない状況なのかはわかりませんが、簡単な4級のほうを勧められたら、それで成功体験ができるのではないですか。もちろん4級に落ちてしまったら大変ですが、何かそういう機会があればいいのではないかと思います。難しいでしょうか。

(学校教育課長の回答) 実はこれは英検なんですけど、中学1、2年生対象には英検IBAというテスト、ライティングとリスニングだけでスピーキングはないのですが、そういった自分の程度がわかる学校でできるテストがあるので、そちらをやっています。だから、1、2年生はそれをやっていて、自分は大体これぐらいという目途を知っています。

- ・それで、もう例えば4級を受けないということもあるのですか。

(学校教育課長の回答) それで受けない子もいます。

- ・結局、英検の補助は中学3年生しか出ていないのですよね。その代わり1、2年生には先ほど言われたテストの体験をして勉強した上で、中3になって受けるということです。そこはもう全員受けたらそれはいいかもしれないですが、これも受けたい子だけというのが現状です。

(教育長の回答) 今、言われたように加西 GLOBAL の一環として、例えば中2から4級も含めて英検を受けられるようにするというようなことは、今後、検討できたらと思います。全員がというのは、強制的になってしまい難しい面もあるのですが、できるだけ受験者を増やしていく空気づくりはできるようにしていきたいと思っています。

こども未来課長

令和7年度学童保育園入園申込みについてご説明します。一斉申込期間は11月5日火曜日から11月20日水曜日までです。入園申込書は10月15日水曜日から、こども未来課及び市内の学童保育園にて配布または、市のホームページからもダウンロードが可能です。北条東学童保育園は、高学年を中心に待機児童が発生しており、解消のための計画を進めているところです。

次に、賀茂幼児園保護者説明会についてご説明します。9月26日に第2回保護者会を行い、配付資料に基づき説明させていただきました。参加者は保護者8名でした。質疑応答で1名から「令和8年4月からゼロ歳児の受入れは停止だが、姉が賀茂にいるがゼロ歳児はそれ以降受け入れないということなのか」、「上の子は賀茂幼児園に入り、下の子は他園に行くということになるが、それは仕方ないという考え方でいい

か」というようなご質問がありました。私からは「下のお子さんについては、ゼロ歳児なので賀茂に入園することは無理です。ただし、別々になるということのほかに、上のお子さんと一緒に他園を選ぶことも検討は可能です」という回答をさせていただきました。

また、当日の参加者が少なかったので資料を園を通じて各保護者へ配布した上、QRコードを入れ込みご意見を頂戴いたしました。昨日段階で1件のご意見がありました。「賀茂幼稚園は人数が少ないので、伸び伸びと園生活を過ごせるということ、また先生の目が行き届くので安心しておりました。今後、転園等をした場合、人数が多い園に移ったときに人数が多過ぎて先生の目が行き届かないことがあったりすると、少し心配です」というようなご意見がありました。

教育委員の質問と回答

- ・意見が1件というのは寂しいですね。もう少し出るかと思っていました。一回、教育部長ともお話しさせてもらったのですが、賛成か反対かというのはもう聞かずにそのままで行ってしまうということですかね。

(こども未来課長の回答) 基本は我々の説明に対して保護者からのご意見はないということで理解させていただいた上で、保護者会はまだ開いていくつもりですが、基本方針としてはこの方向で進めさせていただきたいと思っています。

学校再編室長

9月25日に、第2回統合中学校開校準備委員会を開催しました。そこでは中学校の制服について協議いただき、また学校名の一次選考をしていただきました。一次選考の結果、「加西」「加西統合」「根日女」「加西未来」「加西総合」「播磨加西」の六つが、現在、残っております。次回の開校準備委員会におきまして、この六つの中から中学校の名前を決定したいと考えています。

それから、9月26日から10月3日にかけて、泉中学校区の四小学校でそれぞれ保護者説明会を開催しました。保護者の皆様方からは、特にスクールバスについていろいろご意見をいただいています。事務局から乗降場所や時刻表の案を提示し、集合場所については「もっとこっちのほうが安全じゃないか」というご意見もいただいておりますので、今後、検討していきたいと考えています。あと、添乗員や欠席の連絡、子どもさんが実際にバスに乗ったか、乗っていないかの確認方法等のご意見もいただきました。他市町の事例も参考にさせていただいて今後、検討していきます。

最後に、第4回泉中学校区開校準備委員会を明日開催します。協議事項は学校名の表記について、漢字にするか平仮名にするか、アンケート結果も参考にして開校準備委員会で協議、決定をします。それから、統合小学校の校章や校歌につきましても、

新しくつくるかどうかのアンケート等も取っておりますので、それらも踏まえて協議、決定していきます。

(教育長の説明) バスの集合場所については学校再編室で対応してきたのですが、実際にどこがいいか、どういうふうにしたほうがいいのかといったご意見は、学校のほうが保護者も言いやすく意見が集まりやすいということで、各学校に協力いただきたいとお話をして了解を得ている状況です。ですから、それぞれの小学校区の集合場所等の調整の作業も、最終的には学校にお願いすることになると思っております。

教育委員の質問と回答

- ・教育委員会でスクールバスのコースや時間など、大体こういうのがいいのではないかとというベースをつくっていたおかげで、それが投げかけられたので本当によかったのではないかと思います。あとは学校に任せたらいいという言い方はいけないのですが、そこで大体の目星ができたので、それは最後の詰めに持っていったらいいのではないかと思います。最初から学校だと言っていたら、きっとここまで来れなかった気がします。

あと、スクールバスに誰がきちんと乗って降りたのかというのは、本当に全国でも問題になっています。一番多いのは幼児や園児ですが、現に小学校3年生が取り残されてしまって、たたいて脱出できたというような事例もニュースで言われていましたので、いろいろと調べなければいけないと思います。これは予算のことなので市長に言わなければ駄目かもしれませんが、各家族にタブレットを持たせてシステムで管理するなど、もろもろ考えたらいいのではないかと思います。

また、統合中学校や泉中学校区の小学校についても、これだけアンケートを集めてきたので、最後ではないですが、話をして校章や校歌を決めていければいいのではないかと思います。また何かすることがあれば、先にこちらのほうに報告をいただけたら、報告だけで私たちが意見を言って申しわけないのですが、よろしく願います。

- ・スクールバスについては幼稚園バスでの降ろし忘れなど、命に関わる事例も起こっているもので、カメラがついているものが主流になったり、そのチェックや誰か介助の人をつけるか、つけないかという話も教育長とさせてもらいました。特に近隣ではそうしたことはないようですが、例えば障害を持たれる子どもさんがバスを使われるとか、そういうような場合には個別にまた相談いただくことができるとかと思っています。これについても学校できちんと説明するなり、集まって相談するというシステムを取っていただければ、とてもありがたく思います。

それから、校章や校歌については現在の泉小学校にもあるのですが、それをそのまま使うとなると、何か吸収合併みたいな形になってしまうので、個人的には新しいものをつくったほうがいいのではないかと思います。ただ、この辺は時間もかかることですし、絶対につくるのでこれぐらいの予算が必要となると、難しい場合も出てくると思いますので、そこも準備委員会とよく相談いただいて、そちらの方向で進めていただけたらと思います。

・スクールバスの停留所の件なのですが、最初に場所を決めたとき、学校のほうで決めるときに基本は、児童のいる中央ぐらいが基準になっているのですか。
(学校再編室長の回答) 基本的には安全に乗降できる場所で、民地ではないところを選定しています。

・子どもがそこで待つということや、停留所まで車で行く前提とかを考慮して、場所は自由に選べるよう学校に選択させているのですか。それとも、ある程度この中で選んでくださいとなっているのですか。その辺の基準みたいなのはどういう感じでやっているのですか。また、運営方法や停留所の場所はどこまで選択できるように提示しているのですか。要はわざわざ道路沿いのところではなく、少し奥まっていたとしても広いところのほうが良いという声は可能なのでしょうか。その辺どんな感じの説明をされているのですか。

(学校再編室長の回答) バスが町内に入っていくのはなかなか難しいので、基本的には幹線道路沿いの安全に乗降できる場所を提示しています。ただ、どうしても民家が道の左側ばかりに固まっているので、こちらから提示したものが右側になっていると、反対側のほうが良いだろうというようなご意見もいただいています。その辺はもっと安全に乗降できる場所があれば、そちらのほうに移していきたいと思っています。

・要は個別で話し合いができるということですね。

(学校再編室長の回答) はい。

・例えば朝は民家のある側ですが、降りるときはそこでは無理という場合も出てこようかと思っています。

(教育長の回答) 多分、学校のほうが意見やお願いもしやすいですので、学校や教頭先生などに言っていただいたほうが良いと思います。個別にはなかなか連絡しにくいだろうと思います。それと、子どもたちの状況も年によって変わっていくので、バス停も必ず固定するというのは難しいと思います。毎年、乗る子どもたちの状況を見ながら、柔軟に考えていくことが必要だと思っています。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

- ・美バースデーの奨励金についてお聞きします。教育委員会の管轄ではないかもしれませんが、奨励金を出す基準や目的について可能であれば教えていただきたいです。というのも、今年から富田小学校では回収が3月のみ1回に変わりました。2回以上しないと奨励金が出ないということです。それは規定が以前からあったからだと思うのですが、この前聞いたときも2回からでないといけないという話でした。これを全て出してほしいということではなくて、そもそも奨励金は2回以上でないといけないという奨励金の目的が私にはわからないのです。

今は拠点回収として、各学校でどこかに集めてそれを業者が回収するので、PTA会議のときにも拠点回収は子どもたちも保護者もほとんど参加しなくていいので、すごくいいですよという説明がされ、それで各拠点にしたのですが、こうなるといわゆる美バースデーの目的から大きく変わってきていて、全体としてその仕組み自体をもう少し整理していただきたいと思っています。1回から出してくれということではなく、奨励金の仕組みが現状と合わなくなってきているのではないかということもあります。後日でもいいので教えていただければと思います。

(教育部長の回答) わかりました。生活環境課で奨励金を決めており、今どういう補助基準になっているのかは把握しておりませんので、現状を調べご報告します。

- ・「2回以上しないと出ない、1回だけでは駄目」というのを初めて聞いたので、びっくりしました。経緯としては、何十年前の私が勤めていた頃は美バースデーの収入が結構よかったのですが、古紙が大暴落して、集めても収入がないということがありました。一方、資源のリサイクル、リユースという目的があり美バースデーというのは環境活動としては大事な活動であると。ただ、頑張って集めてもお金にならず、古紙はお金を払って持ってかえってもらうというような時代があり、せつかく中学生や保護者の皆さんが頑張っているのもということで、市がこの奨励金制度をつくってくださいました。はっきりとした年代は忘れましたが、経緯はそういうことです。
- ・子どもたちが参加して初めて成り立つかたちでやっていたのなら、なおさら現状では場所貸しで集めている状況なので、その辺はどれがいいとかということではないので、一回整理したほうがいいのかという感じがします。

(教育長の回答) 検討させていただきます。ただ、教育委員会ではないですね。

- ・それは環境課がやっていることです。私も教育委員会で同じような質問をしたとき、課が違うと言われました。

(教育長の回答) わかりました。では、また担当課と協議して、現状に合った状態で考えていきたいと思います。

1 3 今後の予定について

- ・令和6年第11回定例教育委員会 11月21日(木) 14:00～4階入札室(大)
- ・令和6年第12回定例教育委員会 12月24日(火) 14:00～1階多目的ホール

1 4 その他

- ・今、学校再編や制服などいろいろな課題が出てきているのですが、どうも事務局が動いた上で、こうしましたという報告が多いなと感じています。例えばこの前の生徒と職員による学校再編のワークショップ、賀茂幼稚園の保護者説明会など、こうやっていきたいとか、こうやっていかないといけないのではないかということについて、報告だけではなく、あらかじめどうですかともっと教育委員にも言っていたいて、もう少し報連相を強化していきたいと思っております。

報告だけでは何かあったとき、教育長を含め私たち教育委員としてなかなか回答するのは厳しいところがあります。ですから、行動を起こす前に、課題があったら先に教育委員に相談していただければと思います。取りあえず報連相を強化していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。情報共有をしっかりと行い、子どもたちと保護者のためにやっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

(教育長の回答) それにつきましては、今は教育委員さんと事前に打ち合せ会をさせていただいていますので、何かありましたらその時に私のほうから連絡をさせていただきます。事務局も日々の業務の中でそれを全てこなしていくことになると、非常に厳しい部分がございますので、その内容をできるだけ充実させていただくということで、その間に「何かこれについてちょっとまだわからないのだけれど」ということがありましたら、私に直接ご連絡いただければ、私より連絡いたします。そういうことでよろしくお願いいたします。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和6年10月22日

出席者

(出席者署名)